

2016（平成28）年度事業報告

（自・2016年4月1日 ～ 至・2017年3月31日）

2016（平成28）年度は公益財団法人として5年間を経過した。公益事業の充実と財政の安定化を図りつつ社会福祉を担う人びとの資質の向上、啓発、助成・奨学金支給等各事業は順調に展開することができた。

事業を推進するにあたって、以下を課題と踏まえつつ実施した。

- ① 海外研修の方向性
- ② 高齢者と児童・子どもへの対応
- ③ 自然災害による地域対応
- ④ 財務の強化と安定化
- ⑤ ホームページを中心とした情報の発信
などである。

公益事業の概要

「社会福祉の担い手の育成及び福祉活動振興のための支援事業」を目的とし、その成熟をめざし直接、間接的に支援を行ってきた。

福祉に携わる人々の資質の向上のため海外研修、また国内における社会福祉情報提供のための講座、講習、セミナー、施設見学会、手話教室等を開催した、また福祉をテーマとした「エッセイ」の公募等で広く福祉社会への啓発を計ってきた。

また、社会福祉施設は規模を問わず新設されているが、財政規模によっては活動展開が捗りにくい施設も数多くみられ助成の要請は増加しているので資金助成をしてきた。

高度化する福祉社会のリーダーとなるべき人材を育成することは将来を見据えた福祉社会への支援である。そのための具体的な支援としてペイン記念奨学金を給付、開始3年目となった。

（公1） 公益事業

ア. 海外研修事業

海外での社会福祉の実態を学び、自らの実践を振り返る機会とし、より優れた実践の担い手として成長し、日常業務に生かしていく「人材」となることをテーマとしての研修である。

2016年度は、予てより課題とされていた、子供福祉を具体的に取り上げ「子育て支援」のプログラムを設定した。

訪問型子育て支援ボランティア育成のためのリーダー研修

—イギリス・レスター市、スコットランド・グラスゴー市・エジンバラ市に於いて—

格差社会といわれるなか、負の影響を大きく受けている子どもが増加している。

子どもの育てられる環境については広く支援の必要が言われていたところであるが、多くの場合は

親（特に母親）の子育てに対する主体性が問われるところも見逃すことは出来ない。

そこで、就学前の時点での「子育て支援」に着目したイギリスでの「訪問型子育て支援」（ホームスタート方式）について研修し国内における子育て支援ボランティアの育成に寄与するため研修を実施した。

【訪問先】 ホームスタート UK（ロンドン・レスター市、スコットランド・グラスゴー市・エジンバラ市）

実施期間 2016年10月2日～10月10日日

参加者 公募による 10人 財団委員2人

海外研修企画委員 遠藤久江、高原敏夫、助川征雄、坂本正路、松井直樹、山田幸恵

委員会開催 4/26（2016年度研修計画）7/19（選考委員会 10人選考）8/31（オリエンテーション）、10/24（成果と反省、報告書作成の検討）

1/13、2/7（ホームスタート国際大会について、2017年度研修（ポートランド予定）

研修の成果として研修報告書「訪問型子育て支援ボランティア育成のためのリーダー研修」を200部発行配布した。

イ 講座講習等開催事業

社会福祉の担い手に、新しい知識、技術等を知らせたい。

特に個人では収集できない情報などを提供して将来の課題を探り、社会福祉の充実に寄与、支援するため各種事業を開催した。

2016年度開催事業

	事業名	内容	公募期間	実施日	場所	参加人数
1	音訳講座 基礎編	印刷物の読書に困難な障害のある人のためにデジタル化し、音声での読書を支援する。	1/20～ 2/17	2/21 3/7 3/28	愛恵ビル	30人
2	施設見学①	「全ての人に愛をもって仕える」キリスト教の隣人愛の精神のもと地域に根差した運営をしてきた。徹底した個別ケアへの取り組みから「介護甲子園」で最優秀賞を受賞。 利用者の行きたかった所へ出かけるなど利用者の望みを実現するとともに、スタッフのモチベーション・アップにもつながっている。その介護方針、理念などを学ぶ。	4/20～ 5/20	6月8日	練馬 キングス ガーデン	15人

3	施設見学②	「住み慣れた地域に障がい者が働く場と生活する場をつくりたい」という願いの実現を目指してきた。入所、日中生活介護 就労 B 型施設理念に添ったしっかりした経営、地域社会との共生、ライフステージに応じたサービスを学ぶ。	9/10～ 10/11	11月9日	にじの会	18人
4	セミナー (講演会)	川越 厚 在宅におけるみとり		10月4日	東京・北区 北とぴあ	90人
	手話教室	手話教室 手話通訳者へのステップ講習会		4～3月 20回/年	愛恵ビル	

講座講習企画委員 田中弘、昼間登、新田和子、上田健、伊藤美智子

委員会開催 6/8、6/30、7/2、7/26、7/30、8/20、8/25、8/27、9/12、10/1、10/22、11/9
12/9、12/17、1/16、2/6、3/6、3/9

川越講演会 DVD制作

ウ 愛恵エッセイ賞（懸賞論文）募集事業

豊かな福祉社会を創るため、国民各層から助け合い、支え合う体験、経験のエッセイを公募、福祉意識の涵養のため公募した。

公募期間 2016年9月15日～11月16日

応募数 学生 111、専門職10、一般12 計133

選考委員会 2017年1月21日

選考委員 八尾 勝、今野義美、河合裕志、坂上三男

表彰式 2017年2月25 於・北とぴあ

・講演会 「手話の普及を望む」 加藤邦子（愛恵財団 手話教室講師、）

表彰者

区分	最優秀	優秀	佳作	奨励
学生	松元一織	酒井昂杜 吉水和彦 野木綾乃	飯野葉月、原沢楓	松原綾乃
専門職	田口善彦	相澤美智子	辻井正徳 合田佳	—
一般	安藤智明	阿部松代 西岡奈緒子 安田直子	安藤信男 見浪真樹	—

表彰作品を500部印刷製本 配布。

エ 社会福祉育成活動推進事業

① 助成金給付

社会福祉法人及び特定非営利法人等が実施している事業のうち比較的小規模、財政的なうら付けの少ない施設や先駆的な試み、開拓的な事業に対して財政的助成をした。

公募期間 2016年7月15日～9月20日

応募数 45件

選考委員会 2016年10月7日

助成件数 32件

選考委員 小島敏則(東京都社会福祉協議会)、高原敏夫(社会福祉法人マザアス理事長)
関道子(多摩同協会)

公募期間を2か月早めた、周知期間は例年と同じく行ったが応募施設は対前年度比減少。

① ペイン記念奨学金給付

社会福祉界のリーダーとなるべく人材の育成を目的として給付型奨学金である。

対象 指定16大学 福祉系大学院生

公募期間 2016年4月15日～5月15日

応募者数 4人

必要書類 申請書、成績証明書、指導教員推薦書、本人レポート(自筆のもの)

選考基準 1次 学業成績、指導者推薦書内容、本人レポートによる順位付け
2次 面接勉学の意欲、研究分野及びテーマの口述、自己表現力

選考委員会 1次 2016年6月2日

2次 2016年6月14日(4人の面接)

決定 2人

神奈川県立保健福祉大学院1年	楊 夏麗	2年給付
立教大学院	林 秀和	2年給付*

*大学院修了

選考委員 遠藤久江、河合裕志、李 善恵(同志社大学)

10月で交代退任 濱野一郎(理事長)、塚越敏夫

10月より就任 柴田謙治(金城大学、10月より)、都築光一(東北福祉大学)
濱野理事長においては引続き有識者として陪席する。

委員会開催 6/2(選考)、6/14(面接) 1/19、3/14(受給者報告会)、

受給者報告会 出席者 神作正一郎、白石敦子、林秀和

欠席者 楊夏麗(2017年6月3日に実施する)

収益事業

(収1) 施設貸与事業

当財団が所有している「愛恵ビル」は財団公益事業推進の拠点場所として使用されるほかは、所要スペースを収益事業として貸与している。

2016年度の 事業収入は 合計 5,745,595 円

テナント 株式会社 ESS 2室

社団法人 日本エアマンシップ・操縦士養成機構 1室 良公監査法人1室

法人運営に関する事項

1. 総務事項

財団設立年月日 1998年10月1日

基本財産 (2017年3月31日現在)

投資有価証券 2,675,651,780 円 (時価)

土地 100,000,000 円

建物他 47,119,488 円

2. 役員 2017年3月31日現在の役員 理事9人 監事2人

代表理事 理事長 濱野一郎 (非常勤) 業務執行理事 (常務理事・常勤) 杉浦孝夫
理事(非常勤) 遠藤久江、河合裕志、昆百合子、田中弘 高原敏夫、昼間登 西崎攻司
監事 (非常勤) 新庄正 廣田伊志子

評議員 2017年3月31日現在の評議員 (非常勤) 8人

市川一宏、上田 健、岸川洋治、坂上三男、塚越敏夫、新田和子、野原健治
前川耀男

3. 事務局

常務理事 (事務局長) 1人 職員 2人 久保悦子、和泉志苑 (3/31 退職)

4. 届出、変更事項 8月8日 評議員、理事、監事の退任就任の届出

5. 会議開催状況

評議員会	2016年6月16日	2016年度 定時評議員会	
	2017年3月21日	2015年度 事業報告・収支決算承認 2016~2018年度理事監事選任の件 2016~2020年度 評議員の選任 2016年度 臨時評議員会 2017年度事業計画案 承認 収支予算案 承認	

理事会	2016年5月26日	2016年度 第1回定時理事会 2015年度 事業報告(案)承認 決算報告(案)承認 監査報告の件
	6月16日	2016年度 第1回臨時理事会 財団役員、理事長 濱野 一郎 常務理事 杉浦孝夫選出
	7月26日	第2回臨時理事会 業務報告、財産運用(定期預金償還と再投資ヒアリング)
	10月20日	第3回臨時理事会 業務、会計報告、奨学金選考委員の承認
	2017年1月24日	第4回臨時理事会 2017年度事業計画検討 同 収支予算計画検討
	2017年3月7日	2016年度第2回定時理事会、 臨時評議員会開催日の決定
理事会		2016年度第2回定時理事会 2017年度事業計画(案)承認 2017年度収支予算(案)承認 2017年度資金、運用計画の承認
役員懇談会	2016年12月15日	理事、監事において将来計画検討会

内閣府立入検査 2016年6月23日

当財団の運営組織及び事業活動の状況に関する立ち入り検査

内閣府大臣官房公益法人行政担当室 審査監督調査官、参事官補佐及び主査殿によって検査が行われた。

指摘事項 委員会構成員の内財団内部関係者は2人までが適当である。
各選考会の基準を明確化しておくこと。

財産運用 日銀による金利0政策により早期償還条件(マルチコーラブル)付定期預金が償還された。

業務改善

ホームページの刷新、財団案内パンフレット更新により情報伝達の機能の向上を目指した。
愛恵ビルメンテナンス 20B、40A、40B室の空調機の交換、衛生機器の交換

事業報告の付属明細

2016年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

以上